

□議員名：恒松 恵子

## 1 駅前駐輪場について

論点	駅前駐輪場の整備計画について進捗状況は。
回答	雀田駅については敷地の確保を含めてJ Rとの協議は進んでいる。駐輪場のない南中川駅についてJ Rとも協議を進めており、今後解決が図れるよう考えている。小野田港駅についても同様に協議が整えば予算化の要求をしていく。

論点	小野田駅前駐輪場の混雑についての考えは。
回答	特に混雑している小野田駅前第3駐輪場については巡回パトロールを強化し、駐輪場外への駐輪は喚起文書を付けて郵便局前の駐輪場へ誘導啓発を行っている。付近の駐輪場への誘導看板はJ Rの借地であり難しい。

## 2 理科大生の居住地の状況について

論点	平成31年度の理科大入学者の居住はどのような状況か。
回答	平成31年度の学校基本調査から見て、市内への居住は工学部が162人、薬学部が102人。割合で見ると、工学部が72.6%、薬学部が70.3%で、今年度の入学者全体では71.7%が市内に居住していることになる。大学全体では、69.2%。

論点	学生の住みやすいまちづくりを目指した、民間アパート建築推進のための支援策はどうか。
回答	まず市内のアパートの現状を把握するとともに、今後、人口減少が進む中、長期的な視点に立った検討が必要であると考えている。検討を行う際には、支援策により建設するアパートと既存のアパートとの公平性等を考えるとともに、アパート以外にも学生寮の整備や他大学の先進事例等を参考にしながら、さまざまな視点を踏まえて検討していくことが必要であり、大学と密接に連携し情報を共有する中で、行政として支援策が必要かどうかを判断することになる。

### 3 キャッシュレス社会の実現について

論点	キャッシュレス化における市内の現状をどう見ているか。
回答	コンビニや大型商業施設など一部店舗においてはカードやモバイル決済が進んでいるが、全体では現金志向が強くキャッシュレス化は進んでいないとみている。

論点	市民や事業者へキャッシュレス化に対する情報提供の施策はあるのか。
回答	夏ごろに関係機関と連携してキャッシュレス決済を進めるためのセミナーや体験イベントの開催を予定している。それによって市民や事業者へ啓発するとともに不安を解消していきたい。

論点	公共施設利用料などのキャッシュレス化はどう進めていくのか。
回答	現在コンビニ納付を可能としている公共料金はクレジットカードの収納やスマホアプリを利用した納付について検討している。公共施設利用料については導入コストや通信環境整備の観点から具体的に進んでいないが、市民の利便性向上や業務効率化に向けて研究していく。

論点	市内事業者へのキャッシュレス化支援策はどうか。
回答	事業者が店舗に合ったプランを選択できるよう両商工会議所とともに周知を徹底し、国や県の動きを見ながらきめ細やかな支援に努めていくが、事業者や商業者団体に対する本市独自の補助金は考えていない。

※一般質問(代表質問)における論点について、わかりやすくまとめる。

文字は12ポイントで統一し、ひとり3枚以内とする。

1つの論点と回答につき、論点は2行程度、回答は4行程度とする。